

独立行政法人国立女性教育会館の令和元年度文部科学省業務実績評価の結果を踏まえた業務運営の改善等への主要な反映状況

中期計画項目	令和元年度業務実績評価における主要な指摘等	左記の指摘等を踏まえた令和2年度、3年度の改善の状況
<p>Ⅲ－1 自己収入の拡大                      (1) PFI 事業による運営権対価等の確保                      (2) 外部資金の積極的導入</p>	<p>・新型コロナウイルス感染症の影響及び移動や活動の自粛に伴う社会経済活動の停滞によって、施設利用が長期に亘って低下し、法人運営に支障を来すことがないよう、PFI 事業の適切なモニタリングを通じて業務の安定性や継続性を確認するなど、リスク管理や業務継続に努めるとともに、受託研究、科研費や寄附金等の外部資金の獲得にもより一層努める必要がある。</p>	<p>令和2年度、3年度は、埼玉県の要請を受け、新型コロナウイルス感染症軽症者・無症状者の療養施設として、宿泊利用受入れを行った。また、研修施設として、日帰り利用の受入を行い、コロナ禍の中でも施設利用の継続に努めた。</p> <p>さらに、外部資金を獲得するため、受託事業、科学研究費補助金等の申請を行った結果、受託事業経費、科学研究費補助金、補助事業経費を獲得することができた。</p>